

## 〈解答〉

- ① 1 生産
- 2 〔例〕現在の職場で自分がやり抜かねばならないことから逃げていた(ということ)。(28字)

3 イ

- 4 〔例〕他人を羨ましがすることは悪いことではないと私は考える。なぜなら、羨ましいという感情を原動力にして、自分を高められるからだ。私は水泳部に入っているが、自分の記録を後輩に抜かれてしまった。その後輩の才能を羨んだこともあったが、彼に追いつこうと必死に努力をしたところ、自分の記録を伸ばすことができた。後輩を羨ましく思う気持ちがあったからこそ、がんばれたのだと思う。

配点 ①4は4点、他は各2点 10点満点

## 〈解説〉

- ①
- 1 「消費」は「使つてなくすこと」という意味で、その対義語は「生産(＝つくりだすこと)」となる。
- 2 本文では「羨ましい」という感情を決定づける「X」が存在しており、それは「羨ましい」と感じている人の心のなかにある「未開発の可能性」、つまり、「羨ましい」という感情を持っている本人が、やりたくてもできずにいて、「開発を待っているところ」であると述べられている。よって、「スポーツマンの弟を羨ましがっていた人」が、やりたくてもできないでいることが、彼の中に存在する「X」だということになる。傍線①の二段落後にある「自分は現在の職場でやり抜かねばならぬことがあるのに、それが嫌でやっけない。これは自分が弟に比べて不利な職場に就職したので、それほど頑張らなくともいいという理由づけをして逃げていた」という部分を参考に、「スポーツマンの弟を羨ましがっていた人」の、やりたくてもできずにいて、「開発を待っているところ」というのが、「やり抜かねばならぬこと」をやらずに、「逃げていた」ことであるという内容でまとめる。
- 3 傍線②にある「方向指示盤」とは、自分がどの方向に進めばよいかを示してくれる装置のことで、「羨ましい」という気持ちだが、自分はこれがやりたいや、自分はこうなりたい

という、自分の生き方の方向性を定めるための装置になっているということである。

4 「他人を羨ましがること」のよしあしについて、自分の意見を述べる作文問題。本文では、「羨ましい」と思うことを、決してマイナスに捉えるのではなく、むしろ、自分の「可能性を開発」するためのものとして捉えるのがよい、と述べられていたが、筆者のこの意見を肯定するか、否定するか、どちらであれ、しっかりとした根拠をもって、自分の考えを述べる必要がある。

「他人を羨ましがること」を肯定する場合は、「羨ましい」と思う気持ちだが、どのようにして自分の成長につながったのかを、自分の体験を踏まえて書いていく。一方、「他人を羨ましがること」を否定する場合は、「羨ましい」と思うことで、どのようなよくないことが起きたのかを、具体的に述べていく。

〈「他人を羨ましがること」を否定する場合の一例〉

「他人を羨ましがること」は、自分にはないものを求めること、つまり、ないものねだりをしているのであり、裏を返すと、今の自分を受け入れていないということである。まずは、自分のよさを認めることが大切で、他人を羨ましがってばかりいると、自分を好きになれないと、私は思う。

まずは、意見と根拠をはっきりと提示し、それに見合う具体例を自分の体験に触れつつ書くことが大事である。

また、150字以上180字以内の作文であるため、言いたいことを簡潔にしなければ、指定文字数に収まり切れないおそれがある。解答用紙にいきなり書きこむのではなく、問題用紙の余白などを使って、きちんとメモをとる癖をつけておきたい。